

## 令和元年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 大樹町商工会 経営発達支援事業評価委員会
2. 開催日時 令和元年 5月14日(火) 10時30分
3. 開催場所 大樹町経済センター 2階多目的ホール  
※当日開催場所を変更
4. 出席者
  - (1) 外部有識者 大樹町企画商工課 係長 西川 嗣聖(代理)  
大樹町観光協会 会長 一戸 勉  
帯広信用金庫大樹支店 支店長 中井 崇仁  
北海道商工会連合会十勝支所長 大山 信幸
  - (2) 商工会 会長 三浦 祥嗣  
副会長 砂田 正好  
同 田中 正一  
総務企画委員長 堀川 俊明  
同 副委員長 田中ひとみ  
同 委員 加藤 康浩  
同 委員 野村 寿明  
事務局長 大林 一博  
経営指導員 斉藤 秀則

### 5. 内容

定刻となり、事務局が開会を宣し、三浦委員長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

#### (1) 経営発達支援計画及び伴走型小規模事業者支援推進事業について

事務局は、平成27年12月25日に認定を受けた経営発達支援計画及び認定計画において交付を受けて実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の概要説明を行った。

#### (2) 平成30年度事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明した。

平成30年度において、経営発達支援事業を推進していく為に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況は別紙事業評価シートのとおり。

#### (3) 令和元年度事業計画及び予算について

事務局は別紙事業評価シートに基づき、伴走型小規模事業者支援推進事

業を活用して令和元年度の事業の実施を計画している旨の説明を行った。

#### (4) 事業の評価・見直し結果の内容について

外部有識者からの意見等は下記のとおり。

(砂田委員) フォローアップの目標件数は高すぎると感じる。件数より内容が大切、専門家を活用したフォローアップにより持続化補助金などの採択に繋がっている、実績として評価したい。

(三浦委員長) 今年11月に基本計画の更新が予定されています、第2期経営発達支援計画の策定にあたっては行政との共同申請の形となる見通しです。行政担当課と取組み内容等をしっかり協議して策定を進めたい。また大樹町における小規模事業者振興基本条例の策定着手も併せてお願いしたい。

(田中委員) 小規模事業者の範囲、該当しない事業者の割合の把握は必要。

(事務局) 小規模事業者の定義で定められる事業者に限定されている、当地域の9割以上は小規模事業者に該当しています、本計画では小規模事業者の計画経営による経営の維持向上を目指し、それによって地域経済の活性化に繋げることを目的としています。

(中井委員)

町内唯一の金融機関として、当金庫も事業承継をメインの課題として捉えています。商工会とは同じ方向を向いていると思っているため、支援機関としてしっかり連携していきたい。

(三浦委員長)

大樹町は道の駅を拠点とした自動運転実証実験のモデル地域になっており、今後においても長期間に及ぶ実証実験の予定もあることから、地域活性の材料として基本計画に取り込むことも考えたい。

(一戸委員) キャッシュレス決済の広がりは急速に進むと感じている、当地域への波及を進めるための取り組みも必要、基本計画に取り入れてほしい。

(田中委員) Uターンした若者を支援する体制を強化したい。現状行政で実施している起業家支援事業の要件緩和も含めて検討して頂きたい。

(砂田委員) 基本計画の実行による支援成果の蓄積が重要です、評価委員会での意見を反映した第2期基本計画の策定をお願いしたい。

その他、事務局は意見等を求めたが特に発言はなく、評価委員会を閉会した。時に11時30分